

和光市立本町小学校保護者様

令和5年度 和光市立本町小学校 学力・学習状況調査結果について

4月に実施した全国学力・学習状況調査（6年生対象）及び5月に実施した埼玉県学力・学習状況調査（4、5、6年生対象）の本校の結果概要についてお知らせいたします。今回の検証結果などを基にし、指導改善に努め、更なる学力向上を図ってまいります。

【国語】

○結果概要

- ・どの学年も平均正答率は良好な結果となりました。
- ・5、6年生においては、児童の学力の伸びの平均が、すべての学力層で上昇していました。
- ・学年ごとに傾向は異なりましたがどの領域も優れていました。6年の「話すこと・聞くこと・書くこと」の領域は特に優れていました。
- ・どの学年も領域や観点、形式を問わず、バランスの良い良好な結果となりましたが、すべての問題で良好だったのではなく、苦手傾向がある単体の問題は散見されました。苦手傾向についての関連性については4～6年全体では特にみられませんでした。

○改善策

- ・学力の伸びが順調であるので、現在の指導方針を継続し、学力向上に努める。
- ・すべての児童の学力が伸びていたわけではないので、質問紙の回答から見えている学習方略の特長を個々に分析し、個別指導に生かして指導していく。
- ・「書くこと」について、調査では良好な結果であるが、普段の学校生活（国語や他教科のノートの表現やテストの記述問題）において課題を感じる場面も散見される。考えていることを文章化する機会を積極的に増やし、学習したこととそれを他の教科や学習に生かしていけるようにしたい。

【算数】

○結果概要

- ・どの学年も平均正答率は良好な結果となりました。
- ・5、6年生においては、児童の学力の伸びの平均が、すべての学力層で上昇していました。
- ・どの学年も領域や観点、形式を問わず、バランスの良い良好な結果となりましたが、すべての問題で良好だったのではなく、苦手傾向がある単体の問題は散見されました。苦手傾向の関連性はどの学年でも同様ではありましたが、全体として「数と計算」領域でやや苦手としている児童が散見される結果となりました。

○改善策

- ・学力の伸びが順調であるので、現在の指導方針を継続し、学力向上に努める。
- ・すべての児童の学力が伸びていたわけではないので、質問紙の回答から見えている学習方略の特長を個々に分析し、個別指導に生かして指導していく。
- ・それぞれの学年で苦手傾向があった問題を振り返る機会を設ける。

【質問紙】

○結果概要と考察

- ・各学年で傾向が異なることもあり、学校全体としての傾向が見えにくい結果となりましたが、「内容を考えながら学習をしている」児童が平均よりも多い結果が見られました。その他の考えることに関係する項目で平均よりも高い傾向が散見されました。学習だけでなく、普段の生活においても、意味などもよく考えながら行動する児童が多いと考えています。
- ・学校全体として、「基本的な生活習慣が身についている。」「ルール等を守る気持ちが強い。」「読書の時間が長い」「本が家庭に多くある」「新聞を読んでいる」に關係する質問項目は、平均よりも多い傾向にありました。「家庭での学習時間」が平均よりも多いこともわかりました。これらのことから家庭の教育力が高いと考えています。